

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター(新研究棟7階)

問合せ:連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204

Open Lectures

by Research Centre for Japanese Traditional Music

Gallery & Concert Guide

Autumn & Winter 2014

by Kyoto City University of Arts

京都市立芸術大学ギャラリー&コンサートガイド

伝音セミナー

毎回それぞれのテーマに沿って、伝音センターが所蔵する貴重なSPレコード等に残された迫力ある演奏を紹介し、昭和の時代には身近に存在していた雅楽、浄瑠璃、民謡、わらべうた等に解説を加えながら、歴史を振り返ります。これからの伝統音楽の方向を探っていきます。

第5回 伝音セミナー「乗り物とレコード2」 10月2日(木) 14:40-16:10

講師:大西秀紀(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
乗り物の進化は常に日本の近代化を支えてきました。よく「歌は世につれ」といいますが、人びとは夢や希望やさまざまな思いを乗り物に託し、やがてそれらは歌になり数多くのレコードに記録されました。前回の鉄道編に続き、今回は飛行機、自動車にまつわるレコードを中心に紹介します。

第6回 伝音セミナー 「秋田県の『掛唄』に見る娯楽としての掛け合い歌」 11月6日(木) 14:40-16:10

講師:梶丸 岳(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
万葉の昔に行われた「歌垣」は即興の歌の掛け合いで男女が結婚相手を探した習俗として知られていますが、実際の掛け合い「歌」はしばしば男女関係なく娯楽として人びとに愛されていきます。今回は秋田県で歌われている「掛唄」のやりとりを娯楽という観点から紹介します。

第7回 伝音セミナー 「東アジアにおける音楽の近代とナショナル・アイデンティティ -グローバル～ローカルの狭間で-」 12月4日(木) 14:40-16:10

講師:時田アリソン(日本伝統音楽研究センター所長)
日本を始め、東アジアの国々は中国の楽器、記譜法、音楽理論の影響を受けながら、固有の音楽の古層を充にそれぞれ独特な音楽文化を作り上げました。近代には国家主義がもたらしたコロニアル・モダニズムを被って東アジアの現代音楽文化が形成されてきました。西洋音楽に対する憧れとともに近代国家の形成と伝統音楽の保存に努めます。これが生む矛盾と可能性について考えます。

第8回 伝音セミナー「真宗高田派に伝わる天台系声明」 12月18日(木) 14:40-16:10

講師:廣阪龍就(本学大学院 音楽研究科修士課程 日本音楽研究専攻・真宗高田派僧侶)
高田派は今や、浄土真宗諸派の中では唯一、天台系声明を日常普通に唱える宗派です。なご高田派僧侶にとって天台の声明は極めて重要な。その訳は、伝承(節匠からの口伝)と博士(楽譜)との齟齬にあります。今回は「四奉請」などの実唄を交えながら、天台系声明における口伝と書伝の問題を考えます。

第9回 伝音セミナー「門付けとしての三番叟まわし」 2015年1月8日(木) 14:40-16:10

講師:野町菜々子(本学大学院 音楽研究科修士課程 日本音楽研究専攻)
新年や収穫期など、時節を定めて家々を訪問し祝福しまわるといって門付けという芸能があります。古くは平安時代後期に記録があり、中近世には多種多様な門付け芸が存在していました。近年ではあまり見られなくなったこの芸能の実例として、「三番叟まわし」を紹介したいと思います。

第10回 伝音セミナー「日本の作曲と民謡」 2015年2月5日(木) 14:40-16:10

講師:竹内 直(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
明治以降の日本の洋楽創作史を辿っていくと、民謡を素材にした作品が数多く書かれていることに気づきます。ひとちに民謡を素材にするといっても、作曲家によって、また時代によって、素材としての民謡の扱われ方は多様です。今回は、日本の作曲の創作と民謡との関わりを幅広い年代の作品を聞きながら紹介したいと思います。

第11回 伝音セミナー「国勢調査とレコード」 2015年3月5日(木) 14:40-16:10

講師:大西秀紀(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
平成27年は国勢調査の年です。この調査は国の最も重要な統計調査ですが、当初は国民にとって全くなじみのないものでした。そのための行政は浪花節、漫才、レコー、流行歌、都々逸などの力を借りPRに努めます。今回は昭和5年に大阪で制作された「国調レコード」を中心に、国勢調査にまつわるレコードをご紹介します。

申込方法:①郵便番号②住所③氏名④電話番号(FAX番号)⑤希望講座名を明記の上、Eメール(public@kcuua.ac.jp)、FAX(075-334-2241)、ハガキのいずれかでお申込みください。

でんおん連続講座

日本の伝統音楽や芸能について多くの方に理解を深めていただけるよう、音源・映像を用いて説明を行いながら、歴史的資料、口伝書、楽譜等の演奏資料を読み進めます。

でんおん連続講座D 「能を題材とした長唄曲1」 11月27日(木)、12月11日(木) 10:30-15:00

講師:武内恵美子(日本伝統音楽研究センター准教授)
歌舞伎舞踊として発展した長唄には、能を題材にした曲が多く存在しますが、両方と比較して味わってみる機会は多くないのではないでしょうか。能を長唄に仕立て直したときに生じる変化を、内容・構成・歌詞・音楽・舞台の表現等から比較・再考してみます。

でんおん連続講座E 「平安末期・鎌倉期の舞楽—音楽と舞の様式をさぐる—」 2015年2月27日(金) 13:00-16:10, 28日(土) 13:00-15:00

司会・構成:田銀智志(日本伝統音楽研究センター准教授)
私たちがよく耳にする舞楽は非常にゆつとりとした音楽ですが、中世以前は似ても似つかない音楽でした。平安末期および鎌倉期に撰述され今日に伝存する資料から垣間見る当時の舞楽は、どのような音楽と舞だったのでしょうか。今回は、唐楽を伴奏とする左方舞のうち平舞演目の再現に挑みます。

受講料:D[2,000円]・E[1,000円]
(※連続講座E・2日はカワイサウンド技術、音楽振興財団助成による催しです。)

定員:先着50名
申込方法:①郵便番号②住所③氏名④電話番号(FAX番号)⑤希望講座名を明記の上、Eメール(public@kcuua.ac.jp)、FAX(075-334-2241)、ハガキのいずれかでお申込みください。

公開講座

下京いきいき市民活動センター 第39回伝音公開講座「東アジアにおける近代音楽と作曲」 11月20日(木) 13:00-17:30

【第1部】
本学所属の作曲家、中村典子に、日本と東アジアの楽器を使用した作曲と東アジアの作曲家との交流・協力について、音楽評論家の石田一志には東アジア近代音楽文化の形成について、講演していただきます。

【第2部】
国の重要無形文化財保持者(人間国宝)である、京都出身の長唄演奏家(三味線方)今藤政太郎をお招きします。氏の作曲した現代邦楽作品の演奏と、インタビュー形式によるレクチャーを実施し、近代以降の長唄における古典と新曲、作曲について考えます。

京都市立芸術大学学生会館交流室 「国際シンポジウム」 11月21日(金) 10:00-17:30

今日「ビッグデータ」時代の中で、音楽文化遺産の保護継承は、音楽研究の中心的な課題の一つです。「東アジアにおける近代と音楽」をテーマに、各国の音楽研究データセンターに関わる代表的な人物を招聘し、新しいデータベースについて講演し、活発な議論を導いていただきます。

京都芸術センター(予定) 第40回伝音公開講座「常磐津節の継承と現在」 2015年2月2日(月) 13:00-16:00(12:30受付開始)(予定)

企画・構成:竹内有一(日本伝統音楽研究センター准教授)
共催(予定):重要無形文化財 常磐津節保存会、京都芸術センター
座談会出演者:常磐津節保存会会員、竹内道敬、竹内有一

申込方法:①郵便番号②住所③氏名④電話番号(FAX番号)⑤希望講座名を明記の上、Eメール(public@kcuua.ac.jp)、FAX(075-334-2241)、ハガキのいずれかでお申込みください。

京都市立芸術大学ギャラリー&コンサートガイド 2014年秋冬号

発行:京都市立芸術大学 発行日:2014年9月 <http://www.kcuua.ac.jp/>

芸大祭

11月1日(土)~3日(月・祝日)
10:00~20:00
京都市立芸術大学 構内



作品展や学生コンサートのほか、オーケストラをバックにした臨場感あるミュージカルや、趣向を凝らした独創的な模擬店など、連日訪れても「京芸らしさ」が楽しめるイベントが満載。

今年のテーマは、「ヒーロー〜/BE HERO」。芸大生ひとりひとりの個性を披露し、みんなを魅了するヒーローになって欲しいという思いを込める。

*芸大祭のパンフレットは、学内で10月上旬から配布予定
問合せ:教務学生課(学生・国際・調査担当) 075-334-2211

昨年度の芸大祭の様子 昨年度のGMMミュージカルグループ公演「嵐」の様子

京都府京都文化博物館

京都市中京区高倉通三条上東片町623-1



- ①地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口より徒歩3分
- ②阪急「烏丸」駅下車、16番出口より徒歩7分
- ③京都市バス各系統、バス停「御町御池」下車、徒歩2分

公開講座

国立新美術館(東京)
芸術資源研究センターシンポジウム
「来たるべきアート・アーカイブ 大学と美術館の役割」
11月24日(月・振替休日) 13:30-17:00(13:00受付開始)

今年度学内に新たに発足した、芸術資源研究センターのシンポジウムを国立新美術館との共催により実施。青木保国立新美術館館長による基調講演、パネルドイスカッションを予定。

芸術資源研究センターホームページ <http://www.kcuua.ac.jp/arc/>
問合せ:芸術資源研究センター事務局 075-334-2231

キャリアアップセンター関連イベント

京都府京都文化博物館別館 THE GIFT BOX

アーティストが提案する特別なギフト。
12月23日(火・祝) 11:00-18:00(予定)

日本有数の近代建築物である京都府京都文化博物館別館ホール(旧日本銀行京都支店)を巨大なギフトボックスに見立て、工芸品、アクセサリー及び雑貨などの展示販売やコンサートの開催など、京都芸大ゆかりの若手アーティストから様々な“ギフト”を提案。
問合せ:教務学生課(学生・国際・調査担当) 075-334-2211



- ①京都駅(北側)堀小路通りを東に約15分、河原町通り堀小路通り交差点より東に入る

昨年度のTHE GIFT BOXの様子

京都コンサートホール

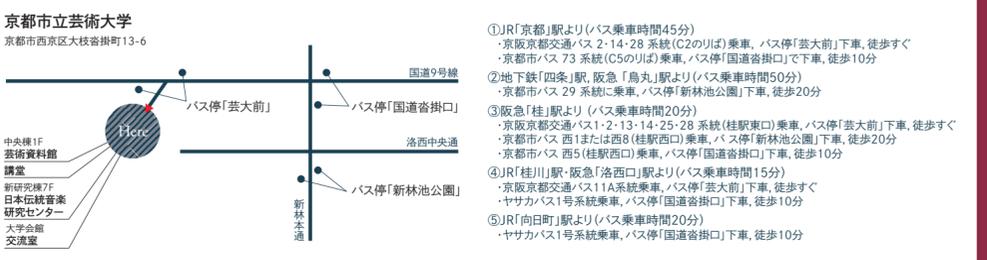
京都市左京区下鴨半木町1-26



地下鉄「北山」駅下車、1-3番出口より徒歩5分

会場案内 Access Map

御来場には、京都市バス、京都市営地下鉄等の公共交通機関を御利用ください。



京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 京都市立堀川音楽高等学校 ホール



- ①地下鉄「二条城前」駅下車、2番出口より南東へ徒歩3分
- ②JR「京都」駅より京都市バス9系統(B1のりば)、50-101系統(B2のりば)乗車、バス停「堀川御池」下車、徒歩すぐ

京都府長岡京記念文化会館



- ①JR「長岡京」駅(西口)より阪急バス乗車、バス停「文化センター前」または「開田」下車、徒歩すぐ
- ②阪急「長岡天神」駅下車、2番出口より西へ徒歩6分

京都市立近代美術館、京都市美術館



- ①地下鉄「東山」駅下車、1番出口より北へ徒歩10分
- ②JR「京都」駅より京都市バス5系統(A1のりば)、100系統(D1のりば)乗車、バス停「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩すぐ

京都芸大 公式Twitter https://twitter.com/kyoto_geidai/



京都芸大 イベント情報 <http://www.kcuua.ac.jp/event/>



京都芸大 公式Facebook <https://www.facebook.com/kcuua.ac.jp/>



京都市立芸術大学ギャラリー&コンサートガイド 2014年秋冬号
発行:京都市立芸術大学 <http://www.kcuua.ac.jp/>
発行日:2014年9月
記載された日時・内容等は、都合により変更が生じる場合があります。予め御了承ください。

展覧会・演奏会情報は
中面をご覧ください!

Exhibitions

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

- ・開館時間 11:00～19:00(最終入館は 18:30)、入場無料
- ・休館日：月曜日(月曜日が休日の場合、翌火曜日)
- ・問合せ：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 075-253-1509

特別展3 「FLOW - 水は何をつなぎ、何処へ行くのか」

10月11日(土)～11月16日(日) @KCUA1・2
「水」をテーマに、フランス、ドイツ、コートジボワール、日本の四つの国出身の作家による、それぞれの水への関わりや態度、水にまつわる作品を紹介する。



フランク・ザヴィエ・グレン 《Swimming pool VII, Track series Bamako》(2009)

特別展4 「ARTIST WORKSHOP@KCUA SHOWCASE」

2015年1月7日(水)～2月8日(日) @KCUA1・2
2014年度招聘講師のエレン・アルトフェスト(絵画)、川内倫子(写真)、ラックードラゴンズ(インスタレーション)によるアーティストワークショップの成果発表展。



ワークショップの様子

京都芸大日本画の現在

11月22日(土)～12月7日(日) @KCUA1
伝統ある京都市立芸術大学日本画研究室の今日を知る展覧会。修士課程生、博士課程生、非常勤講師による作品を展示するほか、ワークショップも予定。

学内申請展1 「舞台がぼんやり見えてきた」

11月22日(土)～12月7日(日) @KCUA2
京都市立芸術大学の交換留学制度を通して出会った、金井徹平、Tom Woolner、山本麻紀子の3名による展覧会。「異なる価値観、常識、視点」をテーマに作品を制作。

留学生展

12月10日(水)～21日(日) @KCUA1
本学に在籍する、世界各国からの留学生(交換留学生を含む)による、毎年恒例の展覧会。京都芸大で学び、独自の作風を切り開く留学生たちの力作を展示。

申請展2 「未来の続きー美術と工芸の新鋭」(仮称)

12月12日(金)～28日(日) @KCUA2, GalleryA
京都市立芸術大学美術工芸資料館による「美術工芸分野新人アーティスト育成プロジェクト」の一環として開催。

同窓会展

2015年2月14日(土)～3月1日(日) @KCUA1
本学美術学部同窓会の会員による展覧会。70年代の作品を中心に展示。



昨年度の会場風景

学内申請展2 「あの”ヒーン”、あの”ベケベケ”」

2015年2月14日(土)～3月1日(日)予定 @KCUA2
別々のメディアを扱う2人の作家、森下明音・笹岡由梨子が、それぞれの「感覚」という抽象的な概念から作品を再構成しようという試み。

京芸 Transmit Program #6 「移動・越境・交差ー Still Moving」(仮)

2015年3月7日(土)～5月10日(日) @KCUA1・2
【会場】京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、元・崇仁小学校など PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015 連携企画展として実施。

京都市立芸術大学 芸術資料館

- ・開館時間 9:00～17:00、入場無料
- ・休館日：月曜日(月曜日が休日の場合、翌火曜日)
- ・問合せ：芸術資料館 075-334-2232

「歴史の贈り物 - 芸術資料館収蔵品展 -」

今年度は、本学における教育史の中で蓄えられた、「歴史の贈り物」と言える多様な収蔵品をテーマ毎に5期に分けて紹介しています。
第4期・第5期は以下の展示を行います。

<第4期> 「精霊のかたち - パプアニューギニアの絵画と土器 -」

9月23日(火・祝)～10月26日(日)
未開美術の宝庫として知られる、パプアニューギニアのセビック川流域。昭和44年に本学の美術調査隊により収集された資料約320点を、当館で「ニューギニア民族資料」として所蔵しています。今回はその中から、日用品である土器と樹皮絵画を中心に紹介します。
◇ギャラリートーク 10月21日(火) 12:10～12:40[申込不要]

<第5期> 「写生に学ぶ - 日本画と素描 -」

11月1日(土)～12月7日(日)
近代に生まれた京都の日本画は、写生を基礎として開花しました。本学の前身である京都市立美術工芸学校・同絵画専門学校では写生教育が重視され、当館には多くの写生資料が遺されています。写生教育の成果である明治・大正期の日本画卒業作品と写生資料を展示します。
◇ギャラリートーク 12月2日(火) 12:10～12:40[申込不要]



模範(ニューギニア民族資料より) <第4期> 村上華岳《熊》 <第5期>

京都市美術館本館・別館, 京都市立芸術大学

- ・開館時間：両会場ともに 9:00-17:00(入館は16:30まで)、入場無料
- ・問合せ：教務学生課(美術教務担当) 075-334-2220

京都市立芸術大学 作品展

2015年2月11日(水・祝)～15日(日)
京都市美術館と京都芸大を会場に、美術学部の1年生から美術研究科修士課程の2年生までの全学生約700名の作品が一室に会する大規模な展覧会。
京都市美術館(本館及び別館)では、絵画、彫刻、版画、工芸やデザインのほか、映像や研究発表など幅広いVRエーションの作品が並び、期間中、優秀作品を制作した学生の作品解説あり。
京都芸大では、学内ギャラリーのほか、普段の講義室が展示会場に変わり、空間全体を使ったインスタレーションや映像作品の上映、大型の作品展示を中心に、斬新で高度な表現を楽しむことができる。



京都市立芸術大学が参加する

アートイベント

ニューブランシュ KYOTO 2014 ～バリ白夜祭への架け橋 - 現代アートと過ごす夜～

10月4日(土) 18:00～25:00
【会場】京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ほか
バリ・京都姉妹都市交流事業の一環として開催される、京都を中心に活躍するパフォーマンス、アーティストによる白夜祭イベント。他にもアンスティチュ・フランセ関西、京都国際マンガミュージアム、京都芸術センターなどで多数のイベントが開催される。
<http://www.nuitblanche.jp/>



Marihiko Hara

- 【Special Performance】
- ・ Shuho (生け花) x Marihiko Hara
- ・ 東京月桃三味線 x ヨシダダイキチ x 1945 a.k.a Kuranaka

- 【Special Events】
- ・ Night Bazaar @KCUA
- アートクラフトからフードまで、@KCUA の選りすぐりの品々が揃う、一夜だけのナイトバザール!
- ・ シュニット国際短編映画祭特別上映会

2月15日(日)は、京都マラソン開催のため、京都市美術館周辺は交通規制が実施されます。

交通規制の詳細は、京都マラソン 2015 公式ページを御覧ください。
<http://www.kyoto-marathon.com/>

Concerts

京都国立近代美術館

ホワイエコンサート

11月8日(土) 17:10 開演
京都国立近代美術館のホワイエ(ロビー)で開催。演奏者と観客の距離の近さが魅力。当日開催されている展覧会「ホイッスラー展」の内容に合った曲目を披露。ゲストを迎えて行われるプレトークにも期待。担当：弦楽専攻。申込不要。[全席自由 無料]
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204

京都市北文化会館

文化会館コンサート1

11月12日(水) 19:00 開演
京都市内の文化会館を会場に、毎回一つの専攻がプロデュースする演奏会。各専攻が趣向を凝らした企画は、気軽に楽しくクラシック音楽に触れられるのが特徴。今回は、吹奏楽の演奏を披露。指揮：若林義人(本学非常勤講師)担当：管・打楽専攻。申込不要。[全席自由 無料]
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204

京都市立堀川音楽高等学校

サテライトコンサート

12月21日(日) 14:00 開演
クリスマスシーズンにお届けする京都新聞社との共催によるチャリティーコンサート。本学大学院の管弦楽団と声楽専攻生に、京都国際交流合唱団が加わり、クリスマスにちなんだ楽曲をお届け。[全席自由 料金：1,000円]
※演奏会の収益は、地域福祉のための義援金として寄付します。
チケット取扱い：京都新聞文化センター 075-256-0007
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204



京都府立府民ホールアルティ

平成26年度 卒業演奏会

2015年3月22日(日) 14:00 開演
音楽学部各専攻から、成績優秀者として選ばれた卒業生を代表する実力者が独奏・独唱等を披露。京都芸大の教育成果の集大成を味わえる、一年に一度の2時間をお見逃しなく。定員450名。申込不要。[全席自由 無料]
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204



京都府立府民ホールアルティ

京都府立府民ホールアルティ共同プロジェクト ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲演奏会

11月22日(土), 29日(土)
14:00 開演 (13:00 プレトーク 12:30 開場)
京芸が誇るピアノ教授陣5人によるリレーコンサート。ベートーヴェンのピアノ協奏曲の魅力に浸る。京都でしか味わえない特別な2日間。本学の教員、在学生、卒業生で編成される特別オーケストラ「京芸フィルハーモニー」にも注目。出演は、阿部裕之、砂原祐、上野真、野原みどり、イリーナ・メジュエワ(以上、本学教員)ほか。曲目：ベートーヴェン ピアノ協奏曲1～5番 [全席指定 料金：一般前売 3,500円、学生前売 1,500円]
問合せ：京都府立府民ホール アルティ 075-441-1414



京都府長岡京記念文化会館

京都府長岡京記念音楽祭

10月5日(日) 14:00 開演
今年で7回目を迎える「長岡京音楽祭」に「学生オーケストラの響き」として京都芸大が演奏協力。フルオーケストラが奏でる迫力満点の演奏会。今回は、親子で楽しめる世界の名曲をセレクト。[全席自由 料金：500円(小学生無料)]
問合せ：京都府長岡京記念文化会館 075-955-5711



京都市西文化会館ウエスティ

音暦2

12月7日(日) 14:00 開演
地域の方をはじめとする市民の皆様にご覧に足を運んでいただける無料コンサート。今回は弦楽専攻生が登場。大人から子供まで楽しめる親しみやすいプログラムをお届け。京芸所在区にある西文化会館で開催。担当：弦楽専攻。申込不要。[全席自由 無料]
問合せ：西文化会館ウエスティ 075-394-2005



京都コンサートホール

第147回 定期演奏会

12月12日(金) 19:00 開演
1953年に第1回が開催された伝統ある本学の定期演奏会。第147回は、秋山和慶を指揮者に迎え、W.A. モーツァルト「ミサ曲」長調「戴冠ミサ」K.317、P. クラツォウ「マンバと弦楽オーケストラのための協奏曲」、H. ベルリオーズ「幻想交響曲」を演奏。京都芸大の力を結集した渾身の演奏会には必聴! 指揮の秋山和慶によるプレトークあり。定員1,500名。[全席自由 料金：1,200円、前売、当日]
チケット取扱い：京都コンサートホール 075-711-3231
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204



秋山和慶



過去の演奏会の様子



過去のオペラ公演の様子

京都市立芸術大学 講堂

第148回 定期演奏会 京都市立芸術大学 オペラ公演

2015年2月21日(土), 22日(日)
大学院生による例年好評のオペラ公演。本格的な舞台セットや衣裳、華やかな演出は一見の価値あり。定員450名。申込不要。[全席自由 無料]
問合せ：連携推進課(事業推進担当) 075-334-2204